

第33回

中央区大江戸まつり 盆おどり大会

8月25日(金)・26日(土)に浜町公園で開催します。詳しくは、「区のおしらせ ちゅうおう」7月1日号および8月11日号でお知らせする予定です。

盆踊り練習会

大江戸まつり盆おどり大会や地域の盆踊り大会にも気軽に参加いただけるよう、練習会を開催します。

日時・会場

- ① 6月28日(水) 月島社会教育会館4階ホール
② 7月5日(水) 京橋プラザ区民館2階多目的ホール

- ③ 7月12日(水) 日本橋社会教育会館8階ホール
◎いずれも午後6時30分～
◎京橋プラザ区民館にお越しの方は、上履きを持参してください。

内容

区のオリジナル曲「これがお江戸の盆ダンス」など数曲の練習(初めての方向けの練習も行います)
◎当日は直接会場へ
◎飲み物などは各自で用意を
問 中央区大江戸まつり実行委員会事務局(地域振興課コミュニティ支援係)
☎(3546)5337

トピックス



第20回エコまつり

6月4日、あかつき公園で、第20回エコまつりが開催されました。会場には多くの人が訪れ、「中央区の森」の間伐材を使った丸太切りやワークショップをはじめ、ごみと資源の正しい分け方を学ぶゲーム、省エネクイズなどさまざまなブースを巡っていました。子どもから大人まで楽しみながら学び、環境への関心を高めるとともに、私たちにできるエコを改めて考える一日となりました。

第5回 東京国際合唱コンクール in HARUMI

国内外の合唱団が、児童、シニアなど11部門のカテゴリーに分かれ出場し、グランプリを目指し熱演を繰り広げる世界水準のコンクールです。

区民ご招待

オープニングコンサートやコンクール本選に区民の方を無料で招待します。

申し込み方法

7月6日(必着)までに電子申請またははがきで申し込む(抽選)。詳しくは区HPをご確認ください。

まちかどコンサート

コンクールに出場する合唱団が区内商業施設で合唱を披露します。

- ◎入場無料・入退場自由
◎どなたでも鑑賞可
◎会場の状況によっては入場制限を実施



◀本選の様子



まちかどコンサートの様子▶



問い合わせ・申し込み先 〒104-8404 築地1-1-1 文化・生涯学習課文化振興係 ☎(3546)5345

区内の文化財

賀茂真淵縣居の跡

都指定文化財 旧跡 日本橋浜町一丁目1番付近

中央区には「文化財保護法」の規定に基づく国の文化財(指定・登録・選定・認定など)をはじめ、「中央区文化財保護条例」の規定に基づいて指定・登録を受けた中央区民文化財が多数存在しています。さらに、「東京都文化財保護条例」の規定に基づく東京都指定文化財なども点在しており、これらを含めると区内の文化財は150件を超えます。

文化財の中には、有形のモノ・無形の技・伝統的な風俗慣習などから、歴史を理解する上で重要な遺跡などまで多様なものがあり、法律や条例に基づいて個別に分類・定義されています。なお、中央区の文化財保護条例では、遺跡に関して「比較的よく原形を保っているもの」または「(原形を保っていないが)旧態を推定し得るもの」の何れかに該当する場合に「史跡」と分類していますが、東京都の文化財保護条例では前者を都指定「史跡」、後者を都指定「旧跡」に分類しています。

今回の文化財は、江戸時代中期の国学者・歌人として名高い賀茂真淵(1697~1769)が居を構えた跡地です。実のところ、この跡地は今から100年以上前(大正7年(1918))に当時の東京府による史蹟保存事業の一環で「史蹟」指定を受けており、区内では最初期に指定された文化財の一つでした。その後、東京都文化財保護条例の制定(昭和27年(1952))によって都指定「史跡」となり、同条例の全改正(昭和30年(1955))に伴って都指定「旧跡」へと分類されて現在に至っています。

賀茂真淵は、遠江国敷智郡伊場村(現在の静岡県浜松市東伊場)に鎮座する賀茂神社の神官・岡部氏(山城国賀茂別雷神社(上賀茂神社)の社家であり勅撰歌人の賀茂成助などを遠祖に持つ家)の子として生まれています。伏見稲荷の社家出身である国学者・歌人の荷田春満(1669~1736)の門に入って遊学(古典・古学・詠歌など)し、師の没後は江戸へ下って学事にい

そしみ、商人・歌人の村田春道や幕臣(町奉行所与力)・歌人の加藤枝直から支援を受けつつ、彼らの子どもたち(後に国学者・歌人となる村田春海や加藤千蔭など)の指導もしました。50歳を迎えた延享3年(1746)には、田安宗武(8代将軍徳川吉宗の次男・田安德川家(御三卿)の初代当主)に召し抱えられ、宝暦10年(1760)に64歳で致仕(隠居)するまで和学御用(国学の講義)を務めました。

明和元年(1764)、信濃国須坂藩堀家上屋敷(現在の日本橋久松町7~10番)東の井戸(「山伏井戸」の呼称あり)付近に屋敷を持つ旗本細田家から百坪の土地を借りて簡素な家作(堂号を「縣居」と称する)を建て、明和6年(1769)に亡くなるまで著述に専念しました。当地では、真淵の代表的な著書『万葉考』(日本最古の歌集『万葉集』に注釈を加えた研究書)などを手掛けました。江戸時代後期の地誌「江戸名所図会」をひもとくと、「賀茂真淵翁閑居地 濱町にあり」と始まる記述があり、真淵の来歴・業績・著名な門人の名とともに、縣居の跡が江戸の名所となっていたことも読み取れます。

なお、日本橋浜町一丁目周辺は、



▶賀茂真淵縣居の跡 (説明板:清洲橋通り沿い)

大正期(当初の史蹟指定時)から街並みが大きく変化(関東大震災と区画整理、昭和期の空襲被害と戦後復興、町名・地番改正など)しているため、縣居の跡地は推定に留まりますが、現在も歴史上の著名な「旧跡」として位置づけられています。真淵の没後は、遺言に従って東海寺塔頭少林寺の後山に墓所が設けられ、明治中期に現在の東海寺大山墓地(品川区北品川4-11-8)への移設改修・改葬が行われました。この真淵の墓は、墓域に立つ石鳥居・修理碑などとともに国の「史跡」に指定(大正15年(1926))されています。

中央区教育委員会 学芸員 増山一成

(8) 「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宫前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。

凡例 問 問い合わせ(申込)先 HP ホームページ Eメールアドレス ※費用の記載がないものは無料

区のおしらせ ちゅうおう



区の公式 SNS など

